日本防災士会奈良県支部第３回総会

と　き　平成２２年４月２５日（日)、９時３０～

ところ　奈良市防災センター、２Ｆ研修室

日本防災士会奈良県支部第３回総会次第

１、　開会　　９時 30 分～

２、　支部長あいさつ

３、　来賓あいさつ及び紹介

４、　議長選出

５、　議事

第１号議案　平成２１年度事業報告について

第２号議案　平成２１年度会計報告について

第３号議案　平成２１年度会計監査報告について

第４号議案　平成２２年度事業計画案について

第５号議案　平成２２年度予算案について

第６号議案　新役員の選出について

新役員あいさつと紹介

６、　その他　　～10 時 30 分

７、　記念撮影　　10 時 30 分～10 時 45 分

８、　防災研修「ＤＩＧ（災害図上訓練）

指導者養成　～入門編～　　10 時 45 分～11 時 45 分

９、　閉会

１０、懇親会（希望者のみ）　　12 時 00 分～

第１号議案

日本防災士会奈良県支部事業報告（案）

一、奈良県支部関係

１、奈良県及び県内各市表敬訪問

○４月 27 日（月）、14 時 00 分～17 時まで

奈良県、奈良市・・・木本支部長他５名

○５月７日~15 日、終日

生駒市、大和郡山市、天理市、宇田市、桜井市、大和高田市、

御所市、葛城市、香芝市・・・大和副支部長、植村事務局長

２、ＪＰ各地区会長への協力要請

○６月 15 日（月）、12 時～13 時

大和高田市内・・・木本支部長他４名

ＪＰ各地区会長から防災士会加入の呼びかけを依頼。後日、各会長から加入呼びかけを行ってもらうことに。

３、奈良県支部ホームページの作成

支部活動の情報提供と支部活動をより充実させる目的で奈良県支部のＨＰを立ち上げることにし、ＨＰ準備会で構成など協議の上、３月 13 日役員会で素案を協議、４月 13 日役員会でＨＰの承認を行いました。

（ＨＰの詳細は別紙参照）

４、各種防災講演・研修会への講師派遣

奈良県内の市町村及び各自治体、各種団体から防災研修会や講演会での講師派遣依頼があり、役員会で協議し以下のとおり派遣しました。

＜講師派遣依頼団体＞

○防災士養成連続講座（６月 21 日、１月 16 日）

○ＪＰ関係中和地区防災研修会（６月 25 日）

○天理市防災講演会（６月 28 日）・・秋留地区防災リーダーとして

○三宅町ボランティア協議会（７月３日）

○桜井市巻向地区福祉協議会（７月 26 日）

○葛城市尺土自治会（７月 11 日）

○三宅町石見自主防災会（９月６日）

○王寺消防団災害図上訓練（９月 13 日）・・ＤＩＧ訓練として

○ＪＰ中ブロック防災研修（11 月 19 日）

○桜井市初瀬地区自治会（12 月 13 日）

○河合町防災研修会「家具転倒・飛来防止」（１月 22 日）

派遣講師・・・木本支部長、大和副支部長、木村副支部長、植村事務局長、西川教育・研修部長、井上委員、山口委員、佐々木広報部長、御門委員他

二、役員会、専門部会

１、役員会

○第１回役員会（６月 27 日、橿原市社会福祉会館）

参加者　木本支部長他　名

主な内容

各役員の任務分担の確認と、当面の日程確認及び各関係機関への表敬訪問等の調整について協議しました。また、支部研修会の内容の協議を行いました。

○第２回役員会（８月 20 日、八木近鉄７Ｆ）

参加者　木本支部長他　名

主な内容

各防災研修会への講師派遣の検討と、防災士会の旗購入について協議と、奈良県防災総合訓練への参加について会員への呼びかけの徹

底を確認しました。また、兵庫県佐用町の水害支援へ奥田防災士がボランティア参加した報告を行いました。

○第３回役員会（10 月 12 日、奈良市防災センター）

参加者　木本支部長他　名

主な内容

各地の研修会の報告及び第２回防災研修会の検討、奈良県防災アドバイザー登録の報告を行いました。また、支部ＨＰの開設の準備することを確認しました。

○第４回役員会（１月 14 日）

参加者　木本支部長他　名

主な内容

支部研修会及び各地区研修会報告及び当面の日程確認と西日本支部長会議及び防災シンポジュームへの支部参加体制の協議を行いました。

○第５回役員会（３月 13 日、奈良市防災センター）

参加者　木本支部長他　名

主な内容

各種研修会報告と当面の日程を確認後、西日本支部長会議で提案された本部ＮＰＯ法人化について報告を行いました。また、支部ＨＰ案を役員会で試写しＨＰの内容協議を行うとともに、第３回総会日時を協議し決定しました。

○第６回役員会（４月 13 日、奈良市防災センター）

参加者　木本支部長他　名

主な内容

支部総会の内容協議と新年度役員案を協議し、ＨＰ開設報告を受けました。また、支部研修会や広報紙について各専門部会から報告を受け協議を行いました。

２、広報部会

○第１回広報部会（５月 21 日、橿原市内）

参加者　佐々木広報部長他３名

主な内容

本年度の広報紙の構成等を協議。

○第２回広報部会（７月 17 日、橿原市内）

参加者　木本支部長、佐々木部長他２名

主な内容

広報誌の執筆状況の確認と、８月開催の「奈良県防災訓練での啓発」について協議。

○第３回広報部会（10 月５日、橿原市内）

参加者　佐々木部長他３名

主な内容

広報誌第２号の最終確認及びホームページ開設の事前協議。

○第４回広報及び事務局合同会議（12 月 17 日、橿原市内）

参加者　佐々木広報部長他５名

主な内容

ホームページの構成及び資料整理、執筆などの事前協議。

○第５回広報部会（２月 22 日、橿原市内）

参加者　佐々木広報部長他３名

主な内容

広報誌第３号の構成及び執筆依頼等の協議

３、教育・研修部会

○防災県外研修会（７月 25 日、兵庫県）

参加者　支部員　１５名

主な内容

「人と防災未来センター」では、被災者の語り部から震災時の様子を

聞き、震災直後やその後の対策、現在できる対策などを研修。また、「淡路震災記念館」では、震災によって断層後などを視察研修。

〇三角巾の使い方とインフルエンザ予防（10 月 12 日、奈良市防災センター）

参加者　支部員４０名

主な内容

緊急を要する課題としてインフルエンザについての研修と、災害時に役立つ三角巾の使用方法を体験研修。

〇亀の瀬地滑り対策現地研修会（11 月 17 日、大阪市柏原市）

参加者　１４名

主な内容

奈良盆地の喉首にあたる亀の瀬で行われている地滑り対策について、現地で国土交通省の現場担当者から説明を受け震災への対応等を研修。

三、本部関係

１、日本防災士会西日本支部長会議

〇１月 30 日（土）と こ ろ　東京都永田町「TBR ビル」

大阪市内・・・木本支部長、植村事務局長

主な議題として、日本防災士会のＮＰＯ法人化と、各地域防災士会の現状報告が協議されました。

２、「防災シンポジューム in 神戸」

〇１月 30 日（日）、神戸市内・・・木本支部長他多数参加。

兵庫県支部主催で、阪神・淡路大震災 15 年を経過して、決して忘れないように！と、開催されました。

３、奈良、和歌山、大阪３府県支部長意見交換会

四、関連団体との連携

１、奈良県主催「防災総合訓練」への参加

○８月 30 日（日）、９時～12 時

橿原市（旧耳成高校）・・・木本支部長他多数参加

２、奈良県住宅供給公社との打ち合わせ

○７月３日（金）、７月 31 日（金）

奈良市内・・・木本支部長、植村事務局長

橋本住宅供給公社理事長と会談。今後、県営住宅での防災訓練等へ防災士会も協力することを約束。

３、奈良県安全・安心アドバイザー事業への協力

奈良県から木本支部長、大和副支部長、植村事務局長の３名がアドバイザーとして任命され、奈良県のチャレンジ事業への協力を行うことになり、今後、防災士会から必要に応じてアドバイザー登録者を増員することを目指していくことになりました。

４、奈良県内及び大阪府下の各種団体から防災研修会や講演会での「後援」の依頼があり、役員会で検討の上、後援を承認しました。

＜後援依頼団体＞

○奈良県社会福祉士会（地域フォーラム in 奈良）

○大阪府建築士会（防災フォーラム）・・平井次長が問題提起

○県内各自主防災会及び各地区自治会

第2号議案

平成21度日本防災士会奈良県支部会計報告

自　平成21年4月 1 日
至　平成22年3月31日

収入決算額	367,126
支出決算額	240,940
差引残額	126,186

単位：円

	科目	予算額	決算額	増減	備考
収　入	繰越金	66,728	66,728	0	
	会費				
	会費	300,000	244,000	▲ 56,000	2.000円×122名
	入会金	40,000	4,000	▲ 36,000	2,000円×2名
	その他収入				
	活動支援金	6,000	42,270	36,270	日本防災士会補助金、役員会補助
	研修参加費	30,000	10,000	▲ 20,000	県外研修残、講師料
	貯金利子	100	128	28	
	合計	442,828	367,126	▲ 75,702	

単位：円

	科目	予算額	決算額	増減	備考
支　出	事業費				
	研修会議事業費	30,000	6,260	▲ 23,740	各研修会議他
	交流事業費	40,000	0	▲ 40,000	交流事業他
	広報活動費	150,000	100,119	▲ 49,881	支部広報誌他
	事務費				
	通信運搬費	70,000	66,640	▲ 3,360	切手代、各送料他
	需要費	100,000	67,921	▲ 32,079	事務消耗品他
	合計	390,000	240,940	▲ 149,060	

平成21度収支決算について、上記のとおり報告いたします。

平成 22 年 4 月 1 日

日本防災士会奈良県支部

会計　古瀬 孝元　印

第３号議案

会計監査報告書

日本防災士会奈良県支部会計の収支について、関係帳簿に基づき監査した結果、適正と認められますのでここに報告します。

なお、支部の収入は会費のみになっているきびしい財政事情を踏まえて、今後より一層努力されることを申し添えます。

平成 22 年 4 月 17 日

幹事（会計監査）

西川隆清

平成 22 年 4 月 17 日

幹事（会計監査）

小角隆雄

第4号議案

平成 22 年度事業計画

事業項目	事業推進内容	実施時期
地域における減災活動の推進事業	地域・職場における減災活動に防災士として積極的に取り組み、自主防災会や各種団体での防災研修会に参加します。そのために、 ・ 震災などの自然災害に備えた予防・減災活動を働きかけます。（自治会、老人会、婦人会など） ・ 耐震補強・AED設置住宅火災報知器設置を呼びかけます。 ・ 地域の自主防災会などへの会員の参加を促します。	適時実施
交 流 事 業	防災士相互の交流を深め、他支部や関係機関との交流を広げます。そのために、 ・ 防災士相互の交流を深めに、ネットワーク（連絡網）作りを行います ・ 他支部との合同研修の開催をめざします。 ・ 各種団体との情報交換及び、交流を深めます。 ・ 各自治体の防災活動に参加します。	適時実施
広報・情報提供事業	支部広報誌をはじめ、各種防災関係の情報提供に努めます。そのために、 ・ 会報を年2回発行します。 ・ 本年度、支部のホームページを立ち上げます。 ・ 関係団体との情報交換を進めます。 ・ テレビ、新聞などのマスコミ積極的に働きかけます。	適時実施
教育・研修事業	会員相互のスキルアップのために研修会などを定期的に開催します。そのために、 ・ 支部主催の防災研修会を年2回開催します。 ・ 各種防災実技講習へ積極的に参加します。 ・ 防災施設見学会、先進地視察を計画します。 ・ 家具転倒防止設置器具の取り付け、ロープワークの訓練、災害時の対応訓練（災害連絡等）	適時実施
受託事業	将来的には、自治体や各種団体から防災活動での事業委託をできるように働きかけます。そのために、 ・ 各自治体での防災士会認知を広めるため、各地域の会員と自治体への表敬訪問の取り組みを続けます。 ・ 防災士の認知度アップのため、会員の名刺に「防災士」肩書きを入れる取り組みをします。	適時実施
災害救援事業	奈良県内及び国内において、災害が発生した場合救援活動を行う。（状況に応じて救援依頼の対応及び自主的な実働支援ができるように、まず救援活動できる体制作りを進めます。）	適時実施

第5号議案

平成22年度日本防災士会奈良県支部予算

自　平成22年4月 1 日
至　平成23年3月31日

収入予算額	496,286
支出予算額	496,286
差引残額	0

単位：円

	科目	予算額	前年度決算額	増減	備考
収　入	繰越金	126,186	66,728	59,458	
	会費				
	会費	300,000	248,000	52,000	2000円×150名
	その他収入				
	活動支援金	40,000	42,270	▲ 2,270	日本防災士会補助
	研修参加費	30,000	10,000	20,000	
	貯金利子	100	128	▲ 28	
	合計	496,286	367,126	129,160	

単位：円

	科目	予算額	前年度決算額	増減	備考
支　出	事業費				
	研修会議事業費	30,000	6,260	23,740	研修2回
	交流事業費	40,000	0	40,000	交流事業他
	広報活動費	150,000	100,119	49,881	広報誌年2回、HP管理等
	事務費				
	通信運搬費	70,000	66,640	3,360	切手代、各送料他
	需要費	70,000	67,921	2,079	事務消耗品他
	予備費	136,286	0	136,286	
	合計	496,286	240,940	255,346	

第６号議案

平成２２年度新役員の選出について（案）

支 部 長	木本喜信（奈良市）	
副支部長	中田勇四郎（奈良市）	
	木村尚史（御所市、ＪＰ）	
事務局長	植村信吉（三宅町）	
〃　次長	平井紳二（生駒市）	
〃　次長	南上敏明（天理市）	
会　　計	古瀬博之（奈良市、ＪＰ）	
幹　　事	広報部会部会長	佐々木章（橿原市）
	教育・研修部会部会長	井上　清（奈良市）
会計監査	小角隆雄（橿原市）	
	西川隆清（三郷町）	
顧　　問	中川　徹（奈良市）	

【各ブロック及び専門部会】

◇　組織部会（ブロック）

○　郵便局ブロック（責任者　木村尚史）

○　奈良市ブロック（責任者　中田勇四郎）

○　北西部ブロック（責任者　＿＿＿＿＿）

※　当面、北東部、五条・吉野北部、南西部、南東部ブロック兼務

◇　広報部会

部会長　　佐々木章（橿原市）

部会員　　勝川喜仙（明日香村　ＪＰ）、御門久美（菟田野　ＪＰ）

　　奥田　仁（香芝市）

担当事務局　植村信吉（事務局長）

◇　教育・研修部会

部会長　　井上　清（奈良市）

部会員　　山口正春（広陵町）、＿＿＿＿＿

担当事務局　南上敏明（事務局次長）

◇　事務局会議

局　長　　植村信吉

事務局次長　南上敏明・平井紳二

会　計　　古瀬博之

専門部会　　ＪＰブロック　木村尚史

　　広報部会　勝川喜仙

　　教育・研修部会　＿＿＿＿＿